



岩手の道の駅を回ろう！
スタンプラリー開催

県内の「道の駅」を対象に第10回岩手「道の駅」一歩一歩スタンプラリーを実施。道の駅などにある用紙に捺印したスタンプの数により豪華賞品が当たる抽選に応募できます。また、全30駅を制覇した人全員に完走証明書をプレゼントします。

ありがとう!! 第10回記念賞
3駅以上制覇した応募者の中から抽選で300人にオリジナルQUOカードをプレゼントします

▶期間…11月1日(金)～4月6日(日)
※応募は4月7日(月)消印有効
岩手河川国道事務所
☎019-624-3196

ご相談ください
国民年金の切り替え

厚生年金や共済の加入者(第二号被保険者)に扶養されている配偶者(第三号被保険者)は、扶養者が退職した場合や自身の年収が増えた時などに、第一号被保険者への変更の手続きを行い、保険料を納めなければなりません。これまでの、届け出が2年以上遅れると保険料の未納期間が発生しましたが、平成25年7月からは手続きを行えば「未納期間」を「受給資格期間」にできるようになりました。国民年金の第三号から第一号被保険者への切り替えの届け出が2年以上遅れたことがある人はご相談ください。☎二戸年金事務所 0195-23-4111 国民年金保険料専用ダイヤル ☎0570-011-050

まちなかワークショップが開催
NEWS 活性化の意見を提案



まちなか活性化のアイデアを提案する参加者

9月29日、やませ土風館でまちなかワークショップ(市主催)を開催。まちなかの再開発に意見を反映させようと中心市街地で働く市民など約20人が参加しました。中心市街地活性化アドバイザーの松村亮氏がまちなかの活性化について講演。続いて「景観」「商店・公共施設」「交通環境」のテーマごとに参加

者をグループに分けて、中心市街地を散策。まちなかの気になる所を撮影して発表しました。各グループからは中心市街地の空き店舗や空き地の多さ、点在する駐車場の利用が進んでいないことなどが挙げられました。最後に、まちなかに必要な物や取り組みのアイデアをグループごとに提案。「街並みに統一感を持たせたい」「駐車場を集約して使いやすくする」「駅前にあまちゃんミュージアムを設置する」など、さまざまなアイデアが出されました。提案された意見を踏まえ、第2期久慈市中心市街地活性化基本計画の年内策定、来年度からの実施に向けた取り組みが今後進められます。

青森県と岩手県の中学生在が絆を深める演奏会
NEWS 仲間と演奏 気持ちを一つに



130人が一つとなり作り上げる音楽は大迫力

10月6日、アンバーホールで青森県と岩手県の中学校の吹奏楽部による交流演奏会「第3回絆演奏会」が開かれ、市民など約240人が鑑賞しました。市内で初めて開催された演奏会には、久慈中学校(小橋正嗣校長)、盛岡市立北陵中学校(佐賀文行校長)、八戸市立湊中学校(松村道弘校長)の吹奏楽部員130人が参加しました。前半は、学校ごとにお気に入りの曲などを表現力豊かに演奏しました。後半は、ドラマでおなじみのおまちゃんオープニングテーマや潮騒のメモリーなどを3校合同で演奏。当日初めて音を合わせた

とは思えない息の合った音楽を会場に響かせました。また、復興応援曲としてなじみ深い「あすという日が」の合唱も披露。観客席の手拍子と一緒に一つの音楽を作りました。演奏会を終えて、部長の外館優さん(久慈中・3年)は「地元を大切にすることを込めて演奏しました。大人数での演奏はいい刺激になりました。仲間が増えてうれしいです」と達成感を話してくれました。子どもの演奏を聴きに訪れた坂上良子さん(天神堂)は「生徒たちの気持ちが一つになっているのが感じられました。ダイナミックで素晴らしい演奏でした」と深く感動していました。



手話を交えて合唱を披露する生徒たち

ホームページをリニューアル
NFO 消防と防災と災害情報

消防防災課 ☎52-2173



「久慈市の消防と防災と災害情報」

PC、スマートフォンの方



<http://bousai.city.kuji.iwate.jp/index.aspx>

携帯電話の方



<http://bousai.city.kuji.iwate.jp/mob>

11月1日から市の消防と防災のホームページが「久慈市の消防と防災と災害情報」にリニューアルします。より使いやすい、わかりやすく、ページの構成やデザインを全面的に見直しました。これからも引き続き内容を充実させていきます。また、防災情報や防災行政無線情報をメールで配信する

久慈市メールマガジンを12月1日から開始。登録は新ホームページのトップページから行うことができます。登録をした人には11月中、試験期間として情報を配信します。なお、「いわてモバイルメール」の「久慈市防災情報」は11月30日で配信を停止しますので、久慈市メールマガジンへの登録をお願いします。

岩手国体開催決定イベント「復興応援スポーツ教室」
NEWS 元日本代表が子どもたちにエール



「体さばき」を指導する北田さん

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催決定イベント「復興応援スポーツ教室」柔道(同実行委員会主催)が10月18日、三船十段記念館で開催。ソウルオリンピック柔道女子61kg級銅メダリストの北田典子さんとアトランタオリンピックピック柔道男子95kg級日本代表の中村佳央さんを講師に、久慈地域の小・中学生約120人が技を学びました。自己紹介に続いて、2人の講師は柔道を始めたきっかけや代表になるまでの苦労話を披露。また、オリンピック代表選手になるためには努力を続けること、最後まであきらめないことの大切さを子どもたちに語りかけました。

指導を終え、北田さんは「この中から東京オリンピックの選手が出ることを期待しています」と激励。中村さんも「みんなレベルが高いので、練習を続けたい」と話しています。児童・生徒を代表して畠山立成さん(久慈中・2年)が講師にお礼を述べ、「自分たちが岩手国体を盛り上げていきます」と活躍を誓いました。

その後は「投げ技」と「足技」に分かれて実技指導。講師が教える技のコツをしつかり習得しようと、子どもたちは真剣なまなざしで取り組み、学んだことを乱取りで確認していました。



「崩し」を丁寧に指導する中村さん